山口県初の地どりの開発検討会を
深川養鶏農協が開催

畜産技術部(畜産試験場)
平成20年12月25日

畜産技術部では、黒柏鶏を活用して、在来鶏血液５０％の地どり用雄系統（やまぐち黒鶏）の開発を行っています。

この雄系と在来鶏（ロードアイランドレッド）を交配させたオリジナル地どりを民間の生産者団体に提案したところ、深川養鶏農業協同組合がこのオリジナル地どりの内部検討会を１２月２５日に開催しました。

参集は、当農協の役員組合員の他に、県関係者とオリジナル地どり開発に関わっているコンサルタント等の２１名。

検討会では、この地どりの特性、ブランド戦略、今後の展開等の説明の後、当場で飼育した地どりの試食とアンケートが行われました。

深川養鶏農業協同組合では、この内部検討会の結果を踏まえて、今後、商品化に向けての事業展開が行われる予定です。

末永組合長の挨拶

試食用ソテーの調理